

まちなか緑化助成事業補助金 のご案内



小田原市では、美しいまちなみ景観と賑わいを創出するため、公開性・視認性があり、質の高い緑化をする方に対して、その経費の一部を助成します。

- ・助成金額 緑化対象経費の2分の1（ただし、15万円を上限）
- ・対 象 緑化重点地区のうち緑被率の低い小田原駅周辺
 - ☞ 道路に沿った地上部分（駐車場・バルコニー含む）の緑化
 - ☞ 公共の場から見える壁面（塀・フェンス含む）の緑化
 - ☞ 一般に公開されている屋上の緑化
- ・最低面積 1㎡以上
- ・受付期間 4月1日～1月末日
- ・募集件数 4件程度（先着順）

↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓ お問い合わせ先 ↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓

小田原市 建設部 みどり公園課 計画緑政係

電話：0465-33-1584

Fax：0465-33-1565

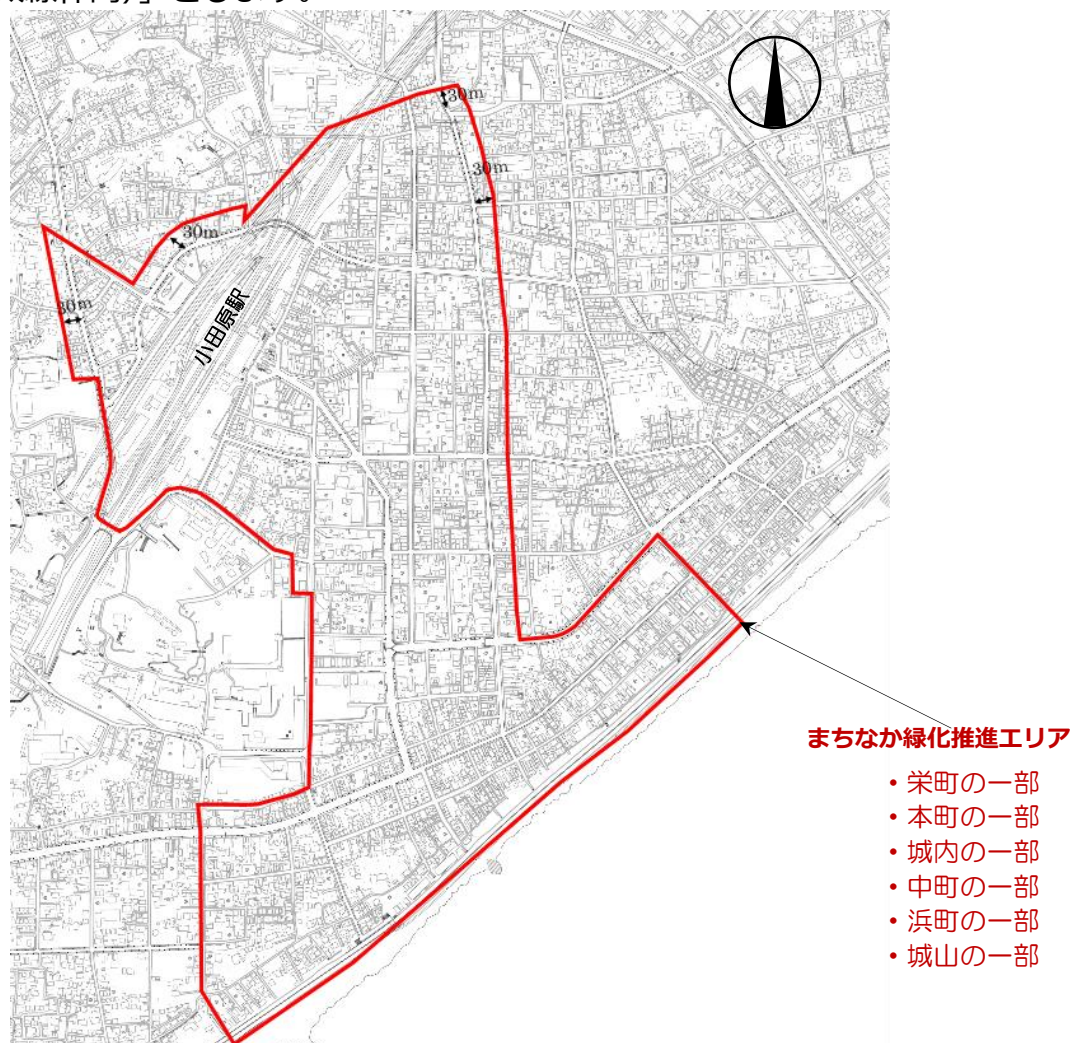
e-mail：mi-ryokusei@city.odawara.kanagawa.jp

目 次

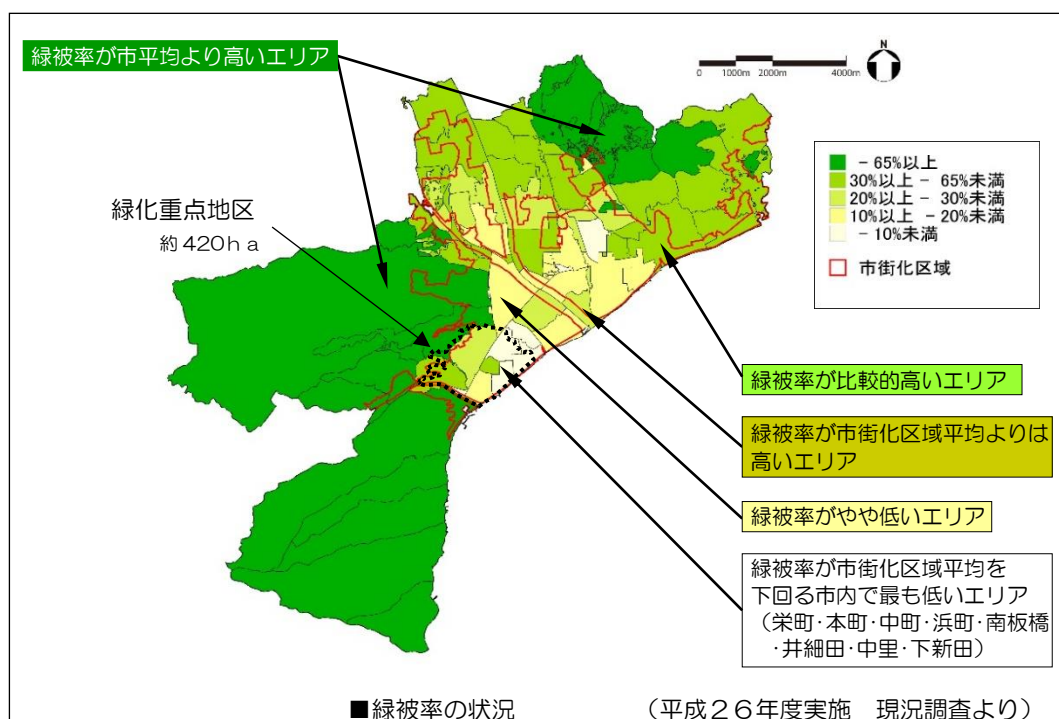
1. 対象エリア	1
2. 助成の対象となる人	2
3. 助成の対象となる	2
4. 助成の対象となる経費	3
5. 助成金額	3
6. 適切な維持管理	3
7. 緑化の基準	
(1) 緑化面積の算定方法	4
(2) 視認性のある緑化の基準	6
(3) 質の高い緑化の基準	6
8. 申請手続き	
(1) 手続きの流れ	7
(2) 申請図書	
1) 緑化の種類別の必要書類	8
2) 補助金交付申請書の記載例	9
3) 緑化計画書の記載例	10
4) 補助金交付申請額計算書の記載例	11
5) 付近見取り図の記載例	12
6) 計画図（平面図）の記載例	13
7) 計画図（立面図、断面図）の記載例	14
様式集	15~20

1. 対象エリア

対象エリアは、緑化重点地区のうち緑被率の著しく低い「まちなか緑化推進エリア」(下図、太線枠内)」とします。



<参考>



2. 助成の対象となる人

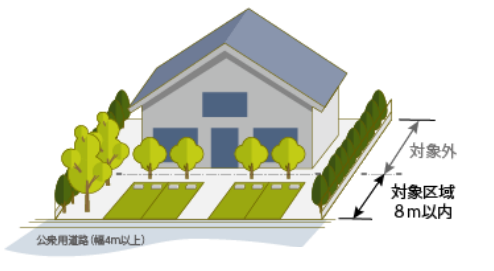
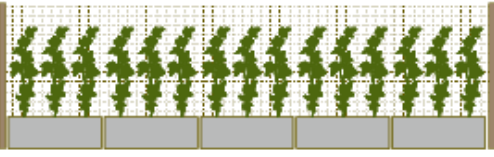
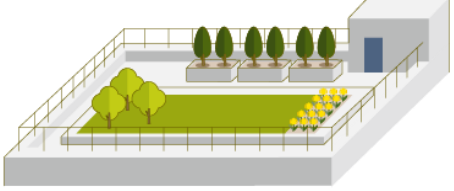
「1. 対象エリア」において、公開性・視認性のある建築物や土地に、「3. 助成の対象となる緑化の種類」に示す緑化を行う当該所有者又は使用者を対象とします。

 以下は対象外です。

- ・申請時において緑化されている場合
- ・分譲又は賃貸を目的とする建築行為に伴う場合
- ・開発条例等法令等により義務的に緑化する場合
- ・景観形成修景費補助金等他の緑化に関する補助金を受ける場合
- ・過去5年間に、本制度により緑化した場合

3. 助成の対象となる緑化の種類

助成の対象となる緑化の種類は、次の3種類です。

地上緑化	幅員4m以上の公衆用道路に面し、道路との境界から概ね8m以内の視認性のある地上部（駐車場・バルコニー含む）において、樹木、地被植物等により1㎡以上を緑化するもの	
壁面緑化	幅員4m以上の公衆用道路に面し、道路との境界から概ね8m以内の視認性のある建築物（敷地の塀・フェンス含む）の壁面に沿って、つる性植物や壁面基盤型により1㎡以上を緑化するもの	
屋上緑化	公開されている建築物の屋上において、樹木や地被植物等により1㎡以上を緑化するもの	

 緑化面積の算定方法などは、「7. 緑化の基準」をご確認ください。

4. 助成の対象となる経費

助成の対象となる経費は、次の4項目です。

樹木等植物購入費	樹木、地被植物（多年草・一年草・野菜類）、つる性植物などの植物を園芸店などで購入する費用
植物の生育に必要な材料の購入費	土壌、肥料、プランターや鉢類、支柱、壁面緑化の誘引資材、かん水施設（雨水貯留タンク等）等の材料費
植栽工事費	植物の植栽等を造園業者などの専門業者に依頼して実施した場合の工事費
既存工作物等の撤去工事費	植栽基盤の造成に伴う既存構造物（ブロック塀等）の撤去工事費（緑化面積のみ、申請後の事前調査時に存在するもの）

以下の経費は対象外です。

- ・ 既存の植物や材料を流用する場合の材料費
- ・ 工事を申請者が自ら行う場合の工事費

5. 助成金額

助成金額は、緑化の種類にかかわらず、下表のとおりです。

① 地上緑化	助成金額は、助成対象経費の2分の1、かつ、15万円を上限
② 壁面緑化	
③ 屋上緑化	

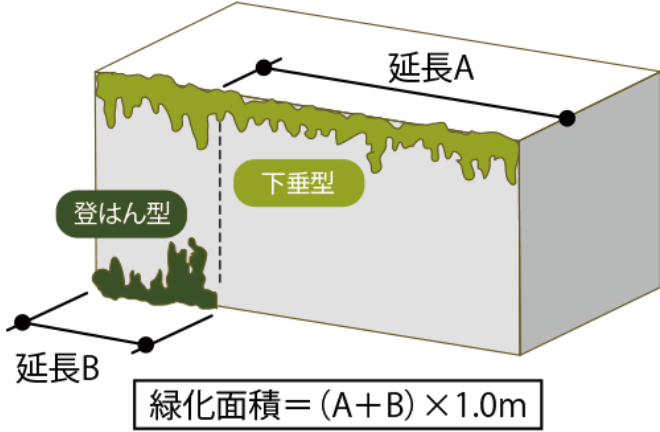
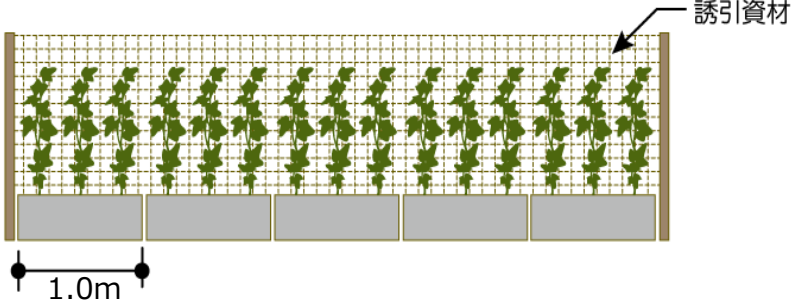
6. 適正な維持管理

- ・ 完成後5年間は、樹種に応じた適切な維持管理、特に隣地や道路への越境等への配慮をお願いします。
- ・ 適切に維持管理できなかった場合、助成金の返還を求める場合があります。
- ・ 小田原市からホームページ等への公開依頼があった場合には、協力していただきます。

7. 緑化の基準

(1) 緑化面積の算定方法

樹木 (高さ 0.4m 以上の樹木)	植栽時の地上高に応じて、次表によるものとする。 <table><tr><th>樹木の種類</th><th>植栽時の地上高</th><th>緑化面積</th></tr><tr><td>高 木</td><td>3.0m以上</td><td>3.0 m²/本</td></tr><tr><td>中 木</td><td>1.0m以上 3.0m未満</td><td>0.5 m²/本</td></tr><tr><td>低 木</td><td>0.4m以上 1.0m未満</td><td>0.2 m²/本</td></tr></table>	樹木の種類	植栽時の地上高	緑化面積	高 木	3.0m以上	3.0 m ² /本	中 木	1.0m以上 3.0m未満	0.5 m ² /本	低 木	0.4m以上 1.0m未満	0.2 m ² /本
樹木の種類	植栽時の地上高	緑化面積											
高 木	3.0m以上	3.0 m ² /本											
中 木	1.0m以上 3.0m未満	0.5 m ² /本											
低 木	0.4m以上 1.0m未満	0.2 m ² /本											
地被植物 (高さ 0.4m 未満の樹木、 多年草・一年 草・野菜類)	①植物の種類に応じて、次の表によるものとする。 <table><tr><th>植物の種類</th><th>緑化面積</th></tr><tr><td>シバ類</td><td>植栽基盤※の面積</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>0.03 m²/株</td></tr></table> ②植栽基盤の土留め部の天端や、基盤上にある舗装・石材等の人工構造物で被覆されている箇所は、面積から除外する。 ③1年草と野菜類は、緑化面積の半分以下とする。 ④駐車場区画を地被植物で緑化する場合は、地被植物の保護材も緑化面積に含む。ただし、1区画に占める地被植物の面積が3分の1以上の場合に限るものとし、これに満たない場合は、地被植物の面積のみを緑化面積とする。 例1 区画全面に均一に 保護材を配置したタイプ 緑化面積＝A×B ※地被植物が3分の1以上の場合 例2 車輪部を補強したタイプ 緑化面積＝A×C×2＋A×B ※地被植物が3分の1に満たない場合	植物の種類	緑化面積	シバ類	植栽基盤※の面積	上記以外	0.03 m ² /株						
植物の種類	緑化面積												
シバ類	植栽基盤※の面積												
上記以外	0.03 m ² /株												

つる性植物	①つる性植物による登はん型、下垂型の緑化面積は、緑化延長に高さ 1.0mを乗じた面積とし、緑化延長 1 m当たり 3 本以上植栽する。 ②緑化した部分が上下に重なる場合（つる性植物による登はん型と下垂型）は、重複して面積を算出しない。  ③緑化延長は、建築物（敷地の塀やフェンスを含む）の壁面の延長を上限とする。 ④プランター等を使用する場合の緑化延長は、各々の植栽基盤の延長の合計とする。 つる性植物を使用する場合は、1m当たり3本以上の植栽が必要。 
壁面基盤型	①壁面基盤型の場合は、植栽基盤の面積を緑化面積とし、緑化面積の 3 分の 1 以上に植物を均一に植栽すること。 ②株物を使用する場合は、1 m²当たり 12 株以上を植栽すること。

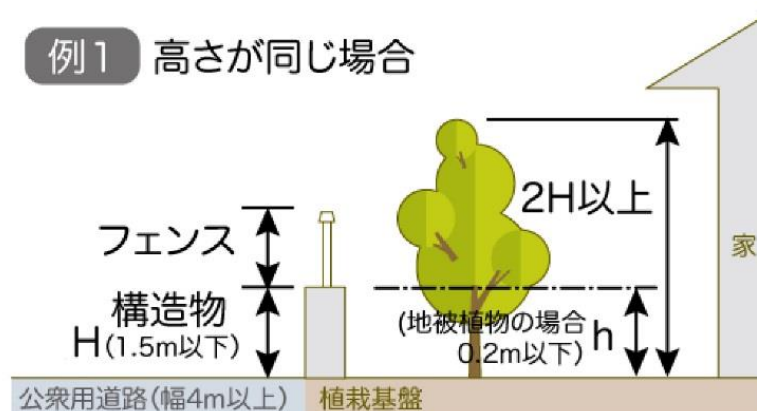
※ 植栽基盤とは、植物の生育基盤である土壌又は土壌の機能を有する部分をいいます。

(2) 視認性のある緑化の基準

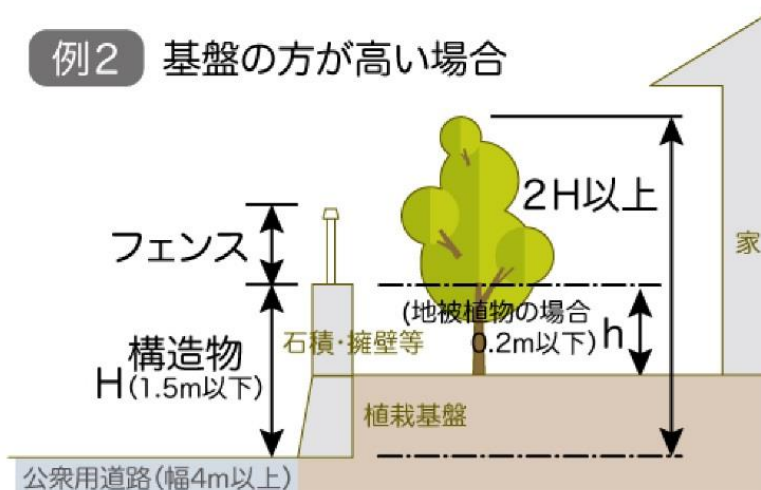
公衆用道路と植栽基盤の間に、ブロック塀や柵の基礎など視認性を妨げる構造物（ネットフェンス等視認性を妨げないものは除く）がある場合には、次のように緑化してください。

- ①公衆用道路から構造物の天端までの高さが 1.5m以下であること。
- ②樹木を植栽する場合は、公衆用道路から樹木の上端までの高さが、構造物の高さの 2 倍以上であること。
- ③地被植物を植栽する場合は、植栽基盤から構造物の天端までの高さが 0.2m以下であること。

例1 高さが同じ場合



例2 基盤の方が高い場合



(3) 質の高い緑化の基準

- ・プランターや鉢類の素材は、素焼きやテラコッタなどの自然素材（自然素材と見分けがつかない上質な表面仕上げのものを含む）としてください。
- ・周辺のみどりやまちなみと調和し、景観に配慮した緑化としてください。

8. 申請手続

(1) 手続きの流れ

 **工事着手前に申請手続きが必要です。工事着手後の申請は助成対象外です。**

1 事前相談	・ 工事に着手する前に、みどり公園課で説明を受けてください。 ・ 現地の写真や緑化イメージ図を持参してください。
2 交付申請	・ (2) の申請図書を確認し、該当する書類を作成して提出してください。 ・ 最終提出期限は、1 月末日です。
3 調査・審査	・ 申請書類のチェックと担当職員による現地確認を行ないます。
4 交付決定	・ 審査結果の通知を郵送します。[申請受付日から 1 5 日程度]
5 工 事	・ 忘れずに、施工中・施工後の写真を撮影してください。 ・ 計画に変更等が生じる場合は、あらかじめご連絡下さい。
6 実績報告	・ (2) の申請図書を確認し、該当する書類を作成して提出してください。 ・ 最終提出期限は、2 月末日です。 期限を過ぎた場合には、補助金が交付できない場合があります。
7 検 査	・ 実績報告書のとおり施工できているか現地確認を行います。 ・ 施主様の立ち合いをお願いします。
8 補助金振込	・ 請求書に記載の口座に補助金を振り込みます。 [検査後から 3 0 日程度]
9 適正な管理	・ 完成後 5 年間は、樹種に応じた適切な維持管理、特に隣地や道路への越境等の配慮をお願いします。 ・ 適切に維持管理できなかった場合、助成金の返還を求める場合があります。 ・ 小田原市からホームページ等への公開依頼があった場合には、協力していただきます。

(2) 申請図書

1) 緑化の種類別の必要書類

書類の種類		緑化の種類			摘 要 (添付書類など)	書類の 記載例 (様式)
		地上	壁面	屋上		
着 手 前	補助金交付申請書	○	○	○		p. 9 (p.15)
	緑化計画書	○	○	○	現況写真を添付 土地所有者の承諾書を添付	p.10 (p.16)
	補助金交付申請額 計算書	○	○	○	見積書(印影・内訳のわかるもの) の写しを添付	p.11 (p.17)
	付近見取り図	○	○	○		p.12
	計画図(平面図)	○	○	○		p.13
	計画図(立面図)	×	○	×	正面から見た図面	p.14
	計画図(断面図)	△	△	○	・ 道路と植栽基盤の高低差が 1.5m以上の場合 ・ 駐車場区画の場合 ・ 壁面基盤型の場合	p.14
完 成 時	土地使用承諾書	△	△	△	申請者と施工部分の所有者が 異なる場合(任意様式)	(p.21)
	実績報告書	○	○	○	施工中・完成写真を添付	(p.18)
	補助金交付実績額 計算書	○	○	○	領収書(印影のあるもの)等、 支出を証する書類の写しを添付	(p.19)
	請 求 書	○	○	○		(p.20)

2) 補助金交付申請書の記載例

補助金交付申請書					
小田原市長 様				年 月 日	
令和0年度まちなか緑化助成事業補助金の交付を、関係書類を添えて申請します。					
申請者住所（又は所在地）		小田原市 浜町1-23-45			
氏 名 (法人等にあっては名称及び代表者氏名)		小田原 みどり			
補助事業の 目的、内容 及び成果目標	目 的	☒ まちなかのみどりを増加し、まちなみ景観の向上と賑わいを創出するため ☐ その他（ ）			
	内 容	☒ 視認性や公開性のある場所に樹木等を植栽する ☐ その他（ ）			
	成果目標 (数値・算定根拠)	※緑化計画書に記載した緑化面積を記入 19.68 m ²			
交付申請額	申 請 額	※収支予算書又は補助金交付申請額計算書に記載した補助金交付申請額を記入 150,000 円			
	算出方法	☒ 別紙補助金交付申請額計算書のとおり ☐ その他（ ）			
補助事業の 遂行に関する計画	実施期間	着手予定日	11月5日	完了予定日	11月10日
	経費配分及び使用方法	別紙収支予算書又は補助金交付申請額計算書のとおり			
添 付 書 類		☒ 緑化計画書 ☒ 収支予算書又は補助金交付申請額計算書 ☐ その他（ ）			

※この交付申請書及び添付書類は公文書として取り扱われ、公開請求があるときは、個人情報など「小田原市情報公開条例」において非公開情報とされている部分を除き、すべて公開されます。

※みどり公園課使用欄

審査項目	審査基準	審査欄（○・×）
① 記載項目・添付書類	1 提出書類に未記入はないか。	記入しない
	2 添付書類は指定したものが提出されているか。	
② 事業の目的・内容・成果目標	1 事業の目的・内容は市の補助交付目的に合っているか。	
	2 事業計画は、要綱で定める補助の要件を満たしているか。	
	3 成果目標は、市民への説明責任を果たせるものになっているか。	
③ 申請額の算出方法	1 単価・内訳が具体的に記載されているか。	
	2 経費の配分、使用方法は事業遂行のうえで適当な額か。	
	3 申請額の算出方法は要綱の定めに従っているか。	
【審査欄に×を記載した場合の内容】		
【審査欄に×を記載した項目の改善内容】		

3) 緑化計画書の記載例

緑 化 計 画 書

申請者氏名 ふりがな	おだわら 小田原 みどり	電話番号	090-1234-5678
申 請 地	小田原市 浜町1-23-45 【緑化を実施する場所を記入】		
緑化の種類	☒ 地上緑化 ☐ 壁面緑化 ☐ 屋上緑化		
添 付 書 類	☒ 付近見取り図 ☒ 計画図（平面図、必要に応じて立面図及び断面図） ☒ 現況写真 ☐ 土地所有者の承諾書（申請者と異なる場合）		

分類	材料名	数量	単位当たり	緑化面積
高 木 (H $\geq$ 3m)	—	本	$\times 3.00 \text{ m}^2$	m^2
	—	本		m^2
	—	本		m^2
中 木 (3m>H $\geq$ 1m)	オリーブ	2 本	$\times 0.50 \text{ m}^2$	1.0 m^2
	センチネル	5 本		2.5 m^2
	エレガンテシマ	9 本		4.5 m^2
	スカイペンシル	8 本		4.0 m^2
	—	本		m^2
低 木 (1m>H $\geq$ 0.4m)	コルジリネ	6 本	$\times 0.20 \text{ m}^2$	1.2 m^2
	—	本		m^2
	—	本		m^2
	—	本		m^2
地被植物 (0.4m>H)	芝類	洋シバ	—	6.0 m^2
	株物	ヒューケラ	$\times 0.03 \text{ m}^2$	0.06 m^2
		クリスマスローズ		0.06 m^2
		アメリカテマリシモツケ		0.06 m^2
		キボウシ		0.06 m^2
		カレックス		0.06 m^2
		その他（別紙のとおり）		0.18 m^2
	1年草・ 野菜類	—	株	m^2
つる性植物	—	(本)	$\times 1.00 \text{ m}^2$	m^2
壁面基盤型	—	—	—	m^2
緑化面積 計				19.68 m^2

4) 補助金交付申請額計算書の記載例

まちなか緑化助成事業 補助金交付申請額計算書

経費の項目	金額（税込）	備 考
樹木等植物購入費 [①]	200,880円	中木 24 本 低木 6 本 地被植物 等
植物の生育に必要な材料等の購入費 [②] （土壌、肥料、プランター、支柱、誘引資材等）	216,000円	テラコッタ鉢×2個 43,200 円 支柱 43,200 円 バークチップ 54,000 円 黒土等 54,000 円 玉石（白） 21,600 円
植栽工事費 [③]	216,000円	樹木植付 54,000 円 花壇（耐火レンガ）製作 162,000 円
既存工作物等の撤去工事費 [④] （ブロック塀等）	86,400円	ブロック塀等除去 86,400 円
合計[①+②+③+④] [⑤]	719,280円	
⑤×1／2 [⑥]	359,640円	
補助金交付申請額	※⑥の金額と 上限額15万円の 小さい方の金額を記入 150,000円	
添付書類	☒ 見積書（印影のあるもの・内訳のわかるもの）	

〇〇交差点

5) 付近見取り図の記載例

付近見取り図

□□交差点

〇〇菓子店

〇〇〇薬局

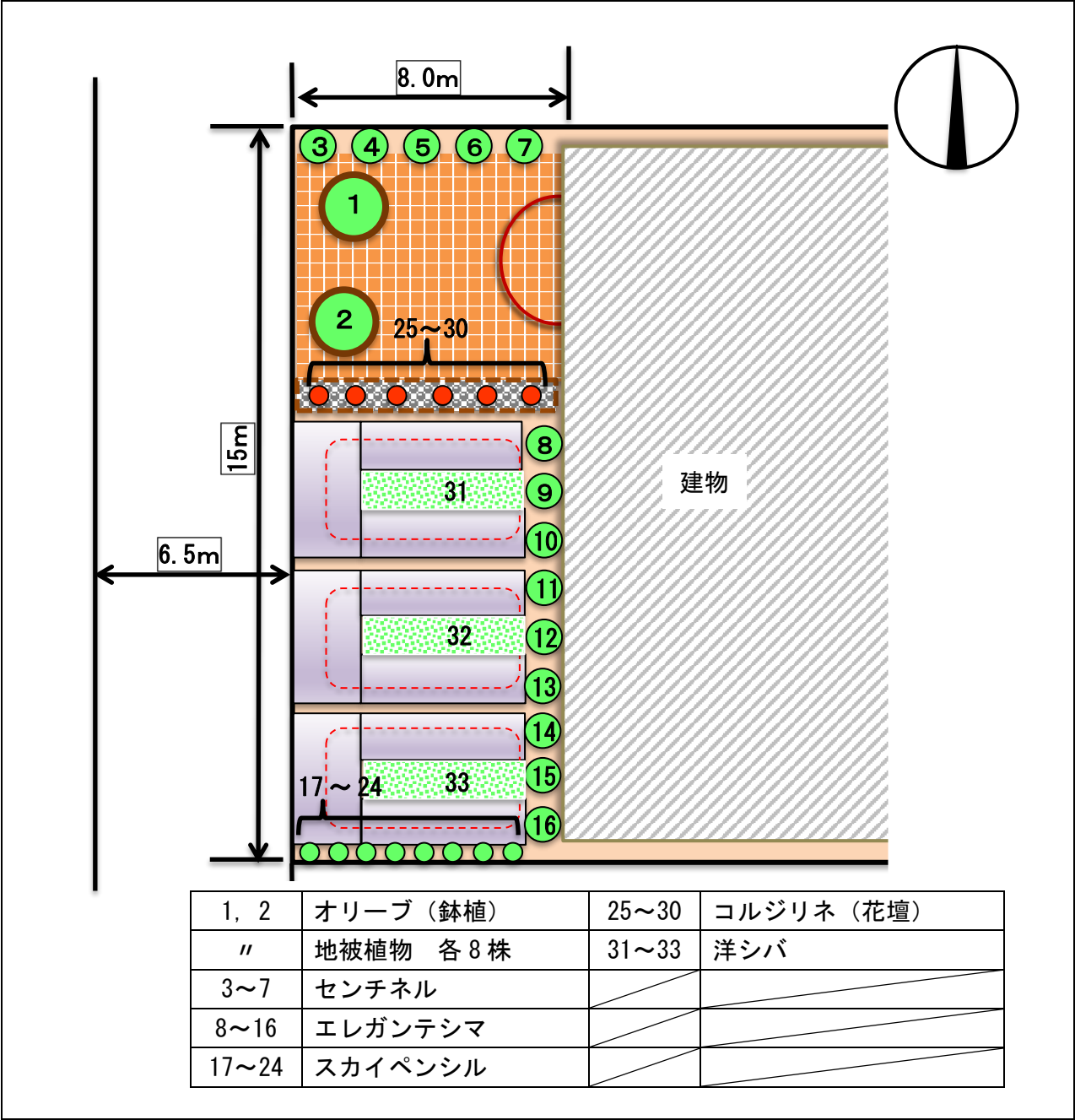
〇〇ラーメン

□□町〇-〇〇-〇

付近見取り図には、次の内容を表示してください。

- 方位
- 申請地の範囲・・・・・・・・緑化する場所の範囲を斜線で示してください。
- 申請地の地名・地番・・・・見本にならって、記入してください。
- 周辺の目標・・・・・・・・目印となる建築物などを、見本にならって記入してください。

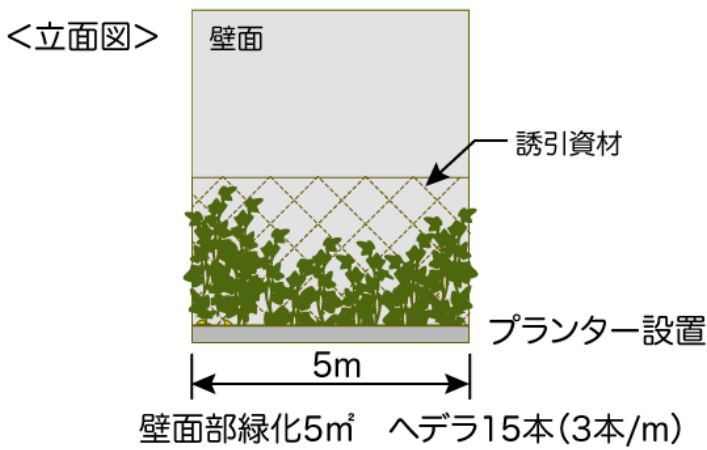
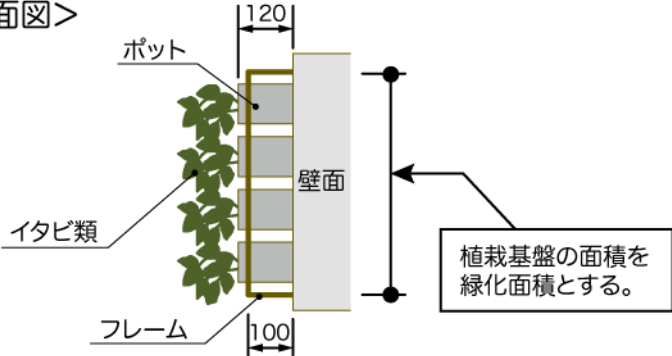
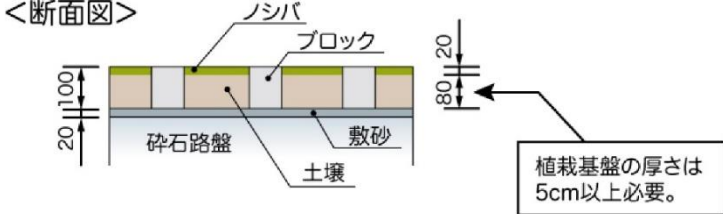
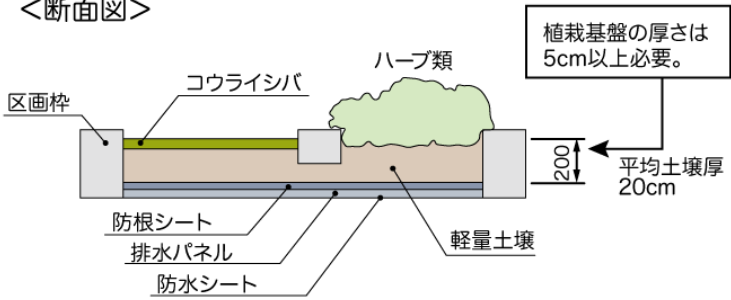
6) 計画図（平面図）の記載例



計画図には、次の内容を表示してください。

- 方位
- 寸法・・・・・・・・植栽地の間口長、奥行、前面道路の幅員を表示してください。
- 敷地の境界線・・・隣地との境界線を表示してください。
- 建物の配置・・・・植栽地に接する範囲を表示してください。
- 樹木等の配置・・・・新たに整備するものを表示してください。

7) 計画図（立面図、断面図）の記載例

立面図（壁面緑化） の記載例	<立面図>  壁面 誘引資材 プランター設置 5m 壁面部緑化5㎡ ヘデラ15本(3本/m)
断面図（壁面緑化・ 植栽基盤型）の 記載例	<断面図>  ポット イタビ類 フレーム 壁面 120 100 植栽基盤の面積を 緑化面積とする。
断面図（地上緑化・ 駐車場区画）の 記載例	<断面図>  ノシバ ブロック 砕石路盤 敷砂 土壌 20 100 20 80 植栽基盤の厚さは 5cm以上必要。
断面図（屋上緑化） の記載例	<断面図>  区画枠 コウライシバ ハーブ類 防根シート 排水パネル 防水シート 軽量土壌 200 植栽基盤の厚さは 5cm以上必要。 平均土壌厚 20cm

様式第 1 号その 1（別表第 2 関係）

補助金交付申請書					
小田原市長 様				年 月 日	
年度まちなか緑化助成事業補助金の交付を、関係書類を添えて申請します。					
申請者住所（又は所在地）		小田原市			
氏 名 (法人等にあつては名称及び代表者氏名)					
補助事業の 目的、内容 及び成果目標	目 的	☐ まちなかのみどりを増加し、まちなみ景観の向上と賑わいを創出するため ☐ その他（ ）			
	内 容	☐ 視認性や公開性のある場所に樹木等を植栽する ☐ その他（ ）			
	成果目標 (数値・算定根拠)	※緑化計画書に記載した緑化面積を記入 m²			
交付申請額	申 請 額	※収支予算書又は補助金交付申請額計算書に記載した補助金交付申請額を記入 円			
	算出方法	☐ 別紙補助金交付申請額計算書のとおり ☐ その他（ ）			
補助事業の 遂行に関する計画	実施期間	着手予定日	月 日	完了予定日	月 日
	経費配分及び使用方法	別紙収支予算書又は補助金交付申請額計算書のとおり			
添 付 書 類		☐ 緑化計画書 ☐ 収支予算書又は補助金交付申請額計算書 ☐ その他（ ）			

※この交付申請書及び添付書類は公文書として取り扱われ、公開請求があるときは、個人情報など「小田原市情報公開条例」において非公開情報とされている部分を除き、すべて公開されます。

※みどり公園課使用欄

審査項目	審査基準	審査欄（○・×）
①記載項目・添付書類	1 提出書類に未記入はないか。	
	2 添付書類は指定したものが提出されているか。	
②事業の目的・内容・成果目標	1 事業の目的・内容は市の補助交付目的に合っているか。	
	2 事業計画は、要綱で定める補助の要件を満たしているか。	
	3 成果目標は、市民への説明責任を果たせるものになっているか。	
③申請額の算出方法	1 単価・内訳が具体的に記載されているか。	
	2 経費の配分、使用方法は事業遂行のうえで適当な額か。	
	3 申請額の算出方法は要綱の定めに従っているか。	
【審査欄に×を記載した場合の内容】		
【審査欄に×を記載した項目の改善内容】		

緑 化 計 画 書

申請者氏名 ふりがな		電話番号	
申 請 地	小田原市		
緑化の種類	☐ 地上緑化 ☐ 壁面緑化 ☐ 屋上緑化		
添 付 書 類	☐ 付近見取り図 ☐ 計画図（平面図、必要に応じて立面図及び断面図） ☐ 現況写真 ☐ 土地所有者の承諾書（申請者と異なる場合）		

分類		材料名	数量	単位当たり	緑化面積
高 木 ($H \geq 3m$)			本	$\times 3.00 \text{ m}^2$	m^2
			本		m^2
			本		m^2
中 木 ($3m > H \geq 1m$)			本	$\times 0.50 \text{ m}^2$	m^2
			本		m^2
			本		m^2
			本		m^2
			本		m^2
低 木 ($1m > H \geq 0.4m$)			本	$\times 0.20 \text{ m}^2$	m^2
			本		m^2
			本		m^2
			本		m^2
地被植物 ($0.4m > H$)	芝類		—	—	m^2
	株物		株	$\times 0.03 \text{ m}^2$	m^2
			株		m^2
			株		m^2
			株		m^2
			株		m^2
			株		m^2
	1年草・野菜類		株		m^2
つる性植物		(本)	m	$\times 1.00 \text{ m}^2$	m^2
壁面基盤型			—	—	m^2
緑化面積 計					m^2

まちなか緑化助成事業補助金交付申請額計算書

経費の項目	金額（税込）	備 考
樹木等植物購入費 [①]	円	
植物の生育に必要な材料等の購入費 [②] （土壌、肥料、プランター、支柱、誘引資材等）	円	
植栽工事費 [③]	円	
既存工作物等の撤去工事費 [④] （ブロック塀等）	円	
合計[①+②+③+④] [⑤]	円	
⑤×1／2 [⑥]	円	
補助金交付申請額	※⑥の金額と 上限額15万円の 小さい方の金額を記入 円	

添 付 書 類	☐ 見積書（印影のあるもの・内訳のわかるもの） ☐
---------	--

様式第9号その1（別表第2関係）

実 績 報 告 書					
小田原市長 様				年 月 日	
年 月 日付け小田原市指令第 号で交付決定を受けたまちなか緑化助成事業補助金に係る補助事業の実績を次のとおり報告します。					
住 所（又は所在地）		小田原市			
氏 名 (法人等にあつては名称及び代表者氏名)					
事業実績	補助金額	円			
	実施期間	着手日	月 日	完了日	月 日
	活動内容	☐ 視認性の高い場所に樹木等を植栽する ☐ その他（ ）			
成果の 自己評価	成果目標	※交付申請書に記載した緑化面積を記入 m²			
	成果実績	※実際に施工した緑化面積を記入 m²			
収 支 実 績		別紙、収支決算書又は補助金交付実績額計算書のとおり			
添 付 書 類		☐ 収支決算書又は補助金交付実績額計算書 ☐ その他（ ）			

※この実績報告書及び添付書類は公文書として取り扱われ、公開請求があるときは、個人情報など「小田原市情報公開条例」において非公開情報とされている部分を除き、すべて公開されます。

※みどり公園課記入欄

審査項目	審査基準	審査欄（○・×）
①記載項目・添付書類	1 実績報告書・収支決算書等に未記入はないか。	
	2 添付書類は指定したものが提出されているか。	
②活動内容・成果目標の達成度	1 活動内容は、交付申請時の内容どおりか。	
	2 成果目標は達成されているか。また、成果が達成されなかった場合、その原因が補助事業者の責によらないものか。	
③収支実績	1 収支決算書等には単価・内訳が具体的に記載されているか。	
	2 経費の配分、使用実績は交付申請時の内容に相当しているか。	
	3 施設整備の場合、財産目録に反映されているか。	
【審査欄に×を記載した場合の内容】		
【審査欄に×を記載した項目への対応】（次年度の補助金額への反映を含む）		

まちなか緑化助成事業補助金交付実績額計算書

経費の項目	金額（税込）	備 考
樹木等植物購入費 [①]	円	
植物の生育に必要な材料等の購入費 [②] （土壌、肥料、プランター、支柱、誘引資材等）	円	
植栽工事費 [③]	円	
既存工作物等の撤去工事費 [④] （ブロック塀等）	円	
合計[①+②+③+④] [⑤]	円	
⑤×1／2 [⑥]	円	
補助金交付実績額	※⑥の金額と 上限額15万円の 小さい方の金額を記入 円	

添 付 書 類	☐ 領収書（印影のあるもの）等、支出を証する書類の写し ☐
---------	--

請 求 書

年 月 日

小田原市長 殿

住所

氏名 印

..... 円

但し、 年度まちなか緑化助成事業補助金として上記の金額を請求
いたします。

振込先

金融機関名及び店名	銀行 信用金庫 農業協同組合												支店
預金種目	01普通					02当座				09その他()			
口座番号													
口座名義(カタカナ)													

土地使用承諾書

令和 年 月 日

土地所有者 住所

氏名 印

私所有の下記の土地において、緑化するために使用することを承諾します。

記

1 土地使用者 住所

氏名 印

2 土地所在地 小田原市

.....